



## 白山麓の自然とくらしに迫る

### 白山文化フォーラム開催

今年で5回目を迎えた「白山文化フォーラム2005」が、9月24日・25日の2日間、市内で行われました。今年度は全日程を3部構成とし、今年設立された白山文化研究会の研究発表や古民家をテーマにしたパネルディスカッションなど、さまざまな角度から白山文化について、活発な意見が交わされました。

### 中世山岳寺院に関する研究発表

24日は、第一部として県内外の民間の研究者を中心に今年2月に設立された白山文化研究会の講演会が行われました。福井県立一乗合朝倉氏遺跡資料館の青木豊昭館長が、「越前の中世山岳寺院の研究動向」というテーマで講演されました。約90名の参加者は、青木館長の迫力あるお話しに、熱心に耳を傾けていました。



研究成果を熱く語る青木館長

### 平泉寺南谷発掘現場の見学会

2日目(25日)は第2部として平泉寺の史跡見学会が行われました。当日は、天候にも恵まれ、約60名の参加者が2班にわかれ、白山神社境内や発掘が進む南谷三千六百坊跡の現場、旧跡の点在する平泉寺集落内を巡りました。



### 白山麓の古民家をテーマにした市民フォーラムを開催

25日午後からの第3部では、「市民フォーラム」が教育会館で行われました。



古民家をテーマにディスカッション

た。今年度から数回にわたり「白山麓の自然とくらし」を題材にフォーラムを行っていく予定ですが、今年「古民家」をテーマに話が進められました。はじめに、県内の建築史の第一人者である福井工業大学の吉田純一教授が「勝山小原の民家」と題し、小原を中心に白山麓に残る古民家について紹介されました。

またフォーラムでは、白峰地区に伝わる国の選択無形民俗文化財にもなっている「白峰かんて踊り」の披露もあり、会場に集まった約100名の参加者は、独特の節回しや気品ある踊りを堪能していました。

「古民家からのメッセージ」と題して行われたパネルディスカッションでは、勝山市文化財保護委員の笠松雅弘氏をコーディネーターに、石川県立白山ろく民俗資料館長の山口一男氏や福井県立歴史博物館の中原義史氏、吉田純一教授がパネリストとして加わり、白山麓にある特徴的な民家や、昔の暮らしについて討議が深まりました。

HAKUSAN CULTURE FORUM

## 郷土資料室と文化財整理室がオープン!

このほど、教育会館内に郷土資料室(2階)と文化財整理室(1階)がオープンしました。現在、郷土資料室では「勝山の縄文時代」と題した企画展示を行っており、市内から出土した縄文土器などおよそ200点が見学できます。また、常設コーナーでは、平泉寺から出土した遺物も約100点展示しています。また、同会館1階(社会福祉協議会跡)には、史跡平泉寺や市内の遺跡から出土した遺物の整理を行う文化財整理室がオープンしました。整理室では、遺物の洗浄から接合作業など、普段は見られない作業が見学できます。(見学時間) 平日の午前8時30分~午後5時15分までご自由に見学できます。



縄文土器が並ぶ「勝山の縄文時代」展

いよいよ第20回国民文化祭・ふくい2005が10月22日から開幕します。県内各市町村で69もの事業が展開され、全国から多くのかたがたが福井県に集います。

### 恐竜文化フェスティバル

勝山ニューホテルで、全国公募による優秀作品の表彰式があります。表彰式後にはヒサクニヒコさんらに

よるシンポジウムが開催されます。優秀作品は、28日午後1時~29日午後1時まで勝山ニューホテルで、29日午後5時からは市民会館で展示が行われます。

### 恐竜ミュージカル

勝山市民会館で元気がいっぱいミュージカルが昼と夜の2回開催されます。勝山を舞台として、豊かな自然の中で起こった、ちょっと不思議で心温まるストーリーとなっています。

### 恐竜イベント

長尾山総合公園で、秋の勝山うまもん祭と一緒に、クイズ大会や大吠コンテストなど様々なイベントが開催されます。※29日、30日の両日は長尾山総合公園への自動車での乗り入れはできません。雁が原スキー場臨時駐車場から随時シャトルバスを運行します。

### IT文化フェスティバル

10月30日より、8月のIT甲子園本選で作成されたホームページを公



開いたします。高校生の持つ感性を存分に発揮した作品を堪能してください。

### ITセミナー

パソコンを使って動画や写真の編集が体験できます。

### IT教育実践事例発表

実際に学校で使われるIT教材が見られます。

### ITアトラクション

福井工業高等専門学校からペットロボットのアイボや、虫型ロボットなどたくさんのおもちゃが集まっています。子どもから大人まで誰でも楽しめます。

問 文化課(☎内線472)

## 市民対話集会 勝山市の中期財政見通しについて対話

平成20年度までを期間とする勝山市の「中期財政見通し」について話し合う市民対話集会が、9月28日、福祉健康センター「すこやか」で開かれました。集会では、市側が平成16年8月に定められた「勝山市行財政改革実施計画」にもとづき、限られた財源の中で勝山市再生に必要な事業の選択と集中を効率よく遂行していくための財政見通しについてグラフなどを使いながら説明し、参加者の意見を求めました。参加した約70名の市民からは、「市税などの滞納処理は今後どのように進めていくのか」や、「財政調整基金の取り崩しは今後どうなるのか」などの意見が出され、これからの勝山市の行財政について真剣に話し合われました。市では、今後も市民対話集会や地区座談会などを通じて市民のみなさんのさまざまなご意見を市政に反映していきます。



問 未来創造課(☎内線232)

ふるさとルネッサンス基金に多額のご寄付をありがとうございました。このたび、東京都在住で勝山市出身の山内高嘉氏より100万円のご寄付をいただきました。この寄付金は、ふるさとルネッサンス基金に積み立てて、勝山市のまちづくりに役立たせていただきます。